

点灯式

2014年11月21日、12月1日

11月21日に今出川キャンパスで、12月1日には京田辺キャンパスで、それぞれ多くの観衆が見守る中、クリスマスイルミネーション点灯式が行われた。2014年度より両校地のツリーを彩る電球が全面LEDになり、柔らかな光に包まれた。



今出川キャンパス



京田辺キャンパス

「訪知館」完成

2014年12月18日

京田辺キャンパスに「訪知館」が完成し、竣工式を行った。訪知館は4階建ての複合的研究施設で、1・2階はプロジェクト型研究室等を配備した全学共用の実験・研究エリアおよび博士課程リーディングプログラム(GRM)拠点エリア、3・4階は2015年度より京田辺キャンパスに拠点を移す脳科学研究科のエリアとなる。研究室や実験施設だけでなく、各階には研究者同士の交流を促す「リフレッシュゾーン」が設置され、本学のますますの研究力の発展が期待される。



訪知館外観



竣工式

看護学部開設記念シンポジウム

2014年11月23日

「いのちと向き合う、看護のこれから」

2015年4月の看護学部開設を記念して、大阪ビジネスパーク円形ホールにてシンポジウムを開催。第一部基調講演では鳥越俊太郎氏(ジャーナリスト)に「がん患者になって分かったことー看護・医療に求められるものー」と題してお話しいただいた。第二部では「今こそ、看護のチカラー原点とこれからを考えるー」をテーマに、鳥越氏、川嶋みどり氏(日本赤十字看護大学名誉教授)と岡山寧子教授、才藤千津子准教授、森公一教授(コーディネーター)によるパネルディスカッションを行った。来場者数約520人。



■ 中学校・高等学校

中学校：輝舞祭＝ダンスパフォーマンス！

2014年10月3日



縦割り八つのグループによって繰り広げるダンスパフォーマンス＝輝舞祭。全員の息とエネルギーが一つになり、聴衆を魅了！



中学校： 学園祭フィナーレ！

春から演劇発表の脚本作り、キャストはもちろん裏方まで自分たちの力で創り上げていく。そして最終日、全校生徒が中庭に集まり中学校の一大イベントである学園祭を締めくくる！

文化祭

2014年11月1日

「ありのままの香里」をテーマに、各展示、ムービー、中庭ステージ、体育館ロック、香真館舞台など、生徒の熱いエネルギーがキャンパスにほとばしった文化祭であった。



書道部パフォーマンス 音楽に合わせて
皆で協力して作り上げた作品



中学生のクラス展示 力作がいっぱい
「富士山の貼り絵」

体育祭

2014年10月7日

新校舎建設中のため、島津アリーナ京都(京都府立体育館)をお借りし、初めて学外での体育祭を行った。
オーロラビジョンに競技や応援が映し出され、生徒たちにはもちろん、保護者の方々にも大変喜んでいただけた。



高校体育祭

2014年9月26日



高校生が、人工芝グラウンドでの初めての体育祭をクラス別対抗で競いあった。

Halloween

2014年10月31日



ハロウィーンの生徒会行事で、ランチタイムに仮装コンクールを楽しんだ。

■ 小学校

ハロウィーン

2014年10月

同志社小学校のかわいいおばけたちは、2014年もハロウィーンの学習を楽しんだ。同志社大学の留学生も多数来校し、ふるさとアメリカのハロウィーンについて児童に伝えた。高学年の希望者は、ハロウィーンクッキングも行った。日本の秋祭りとは違う、外国の秋の季節行事を知る機会になった。



初等部：The First Graduation Excursion



2014年9月2日～10日

開校から4年目、はじめての6年生が9月2日から10日まで本校初となる修学旅行へでかけた。行き先は、ニューヨーク、アーモスト、ボストン。写真は、国連を訪問したときのもの。その後、交流している2校の小学校を訪ね、新島先生の足跡を辿り、子どもたちにとっては、アメリカの歴史や文化に直接触れる良い体験となった。

国際部：DISK IB Student Presentations

2014年12月12日



DISK is excited to report that in December grade 10 students Rina Fujita and Song-hee Won presented their IB Middle Years Program Personal Project drafts, and grade 12 student Risako Kawakatsu gave her IB Diploma Program Theory of Knowledge presentation. DISK is extremely proud of its IB program students, they all showed tremendous academic maturity and expertise during this event.

野点(年長組)

2014年11月10日



日ごろお世話になっている学内外や地域の方々、保護者を幼稚園にお招きし、年長組が野点を行った。沢山のお客様に、最初は緊張した面持ちの子ども達だったが、4月から取り組んでいるお茶のお稽古の成果を披露することができた。

クリスマス礼拝・祝会

2014年12月6日



同志社中学校・高等学校のグレイス・チャペルで、クリスマス礼拝・祝会を行った。年長組による降誕劇の後、祝会では各学年が劇やゴスペル、歌を発表した。チャペルの厳粛な空気に包まれ、皆でイエス様のご誕生をお祝いした。

インタビューの2人

私の志

(本文4〜7頁)

松林佑典さん

1980年、朝日焼十五世豊斎の長男として生まれる。同志社中学校・高等学校を経て、2003年、同志社大学法学部卒業。貿易関係の会社に勤務の後、京都府陶工訓練校でろくろの技術を学び、父のもとで修行。2010年に初個展。現代生活の中でお茶を楽しむための茶器の制作と同時に、伝統工芸の若い担い手によるクリエイティブユニット「OOL」への参加を通して、国内外のクリエイターとのコラボレーションや、海外でのデモンストラレーションなども行い、注目を集めている。



「茶の間」がなくなりつつある今、日本のお茶の文化、お茶のある生活の豊かさを、現代の日本へ、そして世界へ伝えていきたい。それが一番の目標です。

岩元里奈さん

鹿児島県出身。1996年、同志社女子大学文学部英文学科卒業。京都バーブルサング、ヴィッセル神戸、日本プロサッカーリーグ（Jリーグ）で広報を担当した後、2013年、フリーランスのメディアオフィサーとなる。2007年以降、FIFA（世界サッカー協会）主催の世界大会にメディアオフィサー（広報担当官）として召集されるようになり、2013年のFIFAワールドカップブラジル大会では、日本人唯一のメディアオフィサーとして現地で活躍した。



地道な準備を重ねた結果、サッカーの試合でカメラマンがきれいに並んで撮影していると「最高！」とガッツポーズ。そんなところで喜ぶのはメディアオフィサーだけですね(笑)。